

古里版



いきいきふるさと

安心・安全防災マップ

古里住民自治協議会



2017.7.11 長沼2号幹線排水路(三才)



2018.8.25 古里住民自治協議会 防災訓練



2020.4.15 古里総合市民センター桜満開



2019.10.13 県立総合リハビリテーションセンター(下駒沢)



2019.10.13 浅川三才下流(浅川橋)



2019.10.13 田子川三才下流(田子川橋)



2019.10.13 浸水状況(下駒沢)

はじめに

古里住民自治協議会は「大災害に備えた防災体制の構築」を中核事業として、より安心安全な地域づくりを目指しています。住民の皆様が安心安全に暮らしていけますよう、地域特性や状況に応じた「古里版 安心・安全防災マップ」を作成いたしました。

令和元年東日本台風災害(台風19号関連)を経験し、災害の恐ろしさと防災の必要性を改めて認識致しました。防災で大切なことは、防災訓練や防災イベントなどに参加し、常に防災の意識を持続させることだと思います。この防災マップを定期的にご覧いただき防災の重要性を確認し、いざという時自分はどう行動するかを決めておくことが大切です。「わが家の避難行動確認シート」作成は大変有効です。

災害は突然発生します。「自分は大丈夫だろう」の考えは捨てて、災害が発生したら、まず避難です。避難する場所をあらかじめ決めておき、『自分と家族の命を守ることが第一』です。そのうえで近所や周りの人の力になりましょう。

このマップは、より身近なものとなりますよう、各区の一時避難場所や必要な項目など区毎に独自の防災に関する情報も掲載しました。是非ご活用下さいますようお願い致します。

令和3年3月

古里住民自治協議会長 金子 祐三

目次

防災設備	1
富竹区	2~5
金箱区	6・7
下駒沢区	8・9
上駒沢区	10・11
三才区	12・13
西三才区	14・15
新町区	16・17
第二団地区	16・17
洪水ハザードマップ	
富竹区、金箱区、下駒沢区	18・19
富竹区、上駒沢区、三才区、西三才区、新町区、第二団地区	20・21
想定震度分布図	
長野盆地西縁断層帯の地震 長野盆地西縁断層帯	22
糸魚川ー静岡構造線断層帯の地震 過去の地震災害	23
命を守る事前対策を	24
古里地区近隣の避難所等	25
警戒レベル(避難情報) 高齢者などへの支援を	26
非常持ち出し品、備蓄品 防災情報の入手	27
わが家の避難行動確認シート 地震の安全対策	28
過去の水害 水害対策用設備	29

古里地区と各区



注) この防災マップでは、次のように記載します。
駒沢新町区を、「新町区」と記載します
駒沢新町第二団地区を、「第二団地区」と記載します

防災設備

次のページから、各区の防災設備を地図(マップ)に載せました。

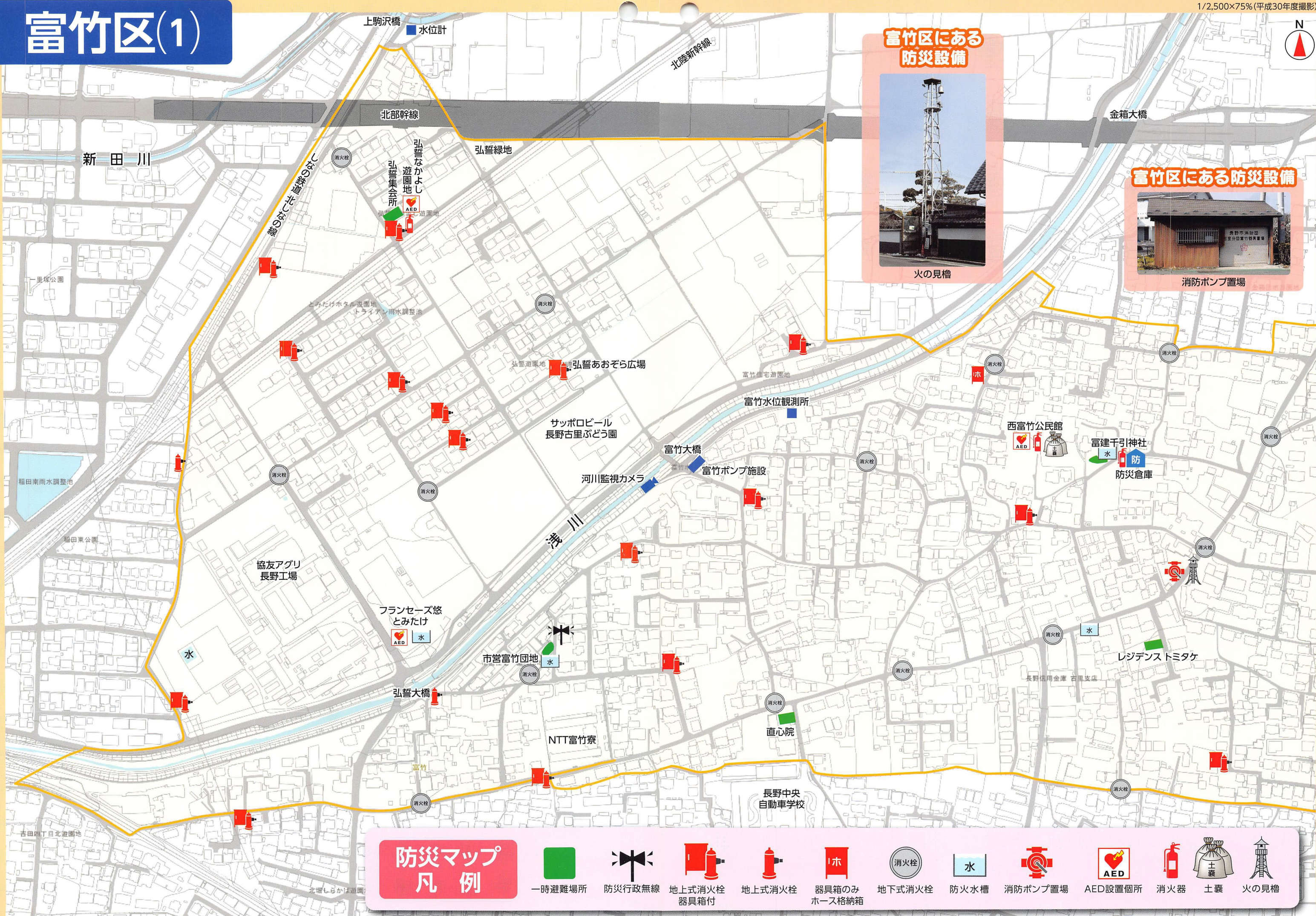
地図の中のご自宅に印を付けて、近所の防災設備等を確認してください。

特に、「街頭消火器」の場所を確認してください。火事を見つけた時には、この消火器を持って、駆け付けてください(使い方は、家庭用消火器と同じです)。



防災行政無線からの放送内容は、
電話でも聴けます。0120-479-231

富竹区(1)



富竹区にある防災設備



火の見櫓

富竹区にある防災設備



消防ポンプ置場

防災マップ 凡 例



一時避難場所



防災行政無線



地上式消火栓
器具箱付



地上式消火栓



器具箱のみ
ホース格納箱



地下式消火栓



防火水槽



消防ポンプ置場



AED設置箇所



消火器

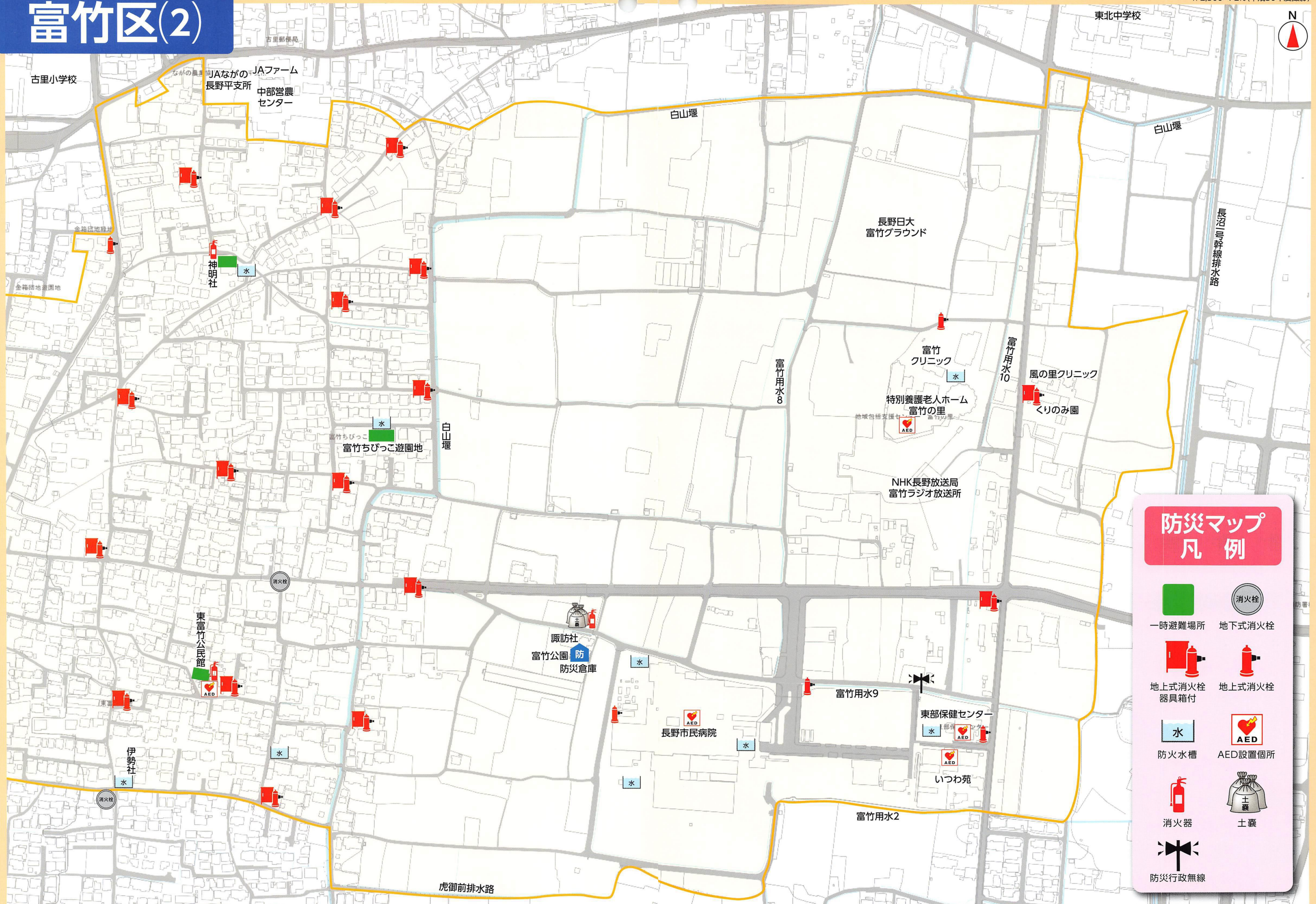


土嚢



火の見櫓

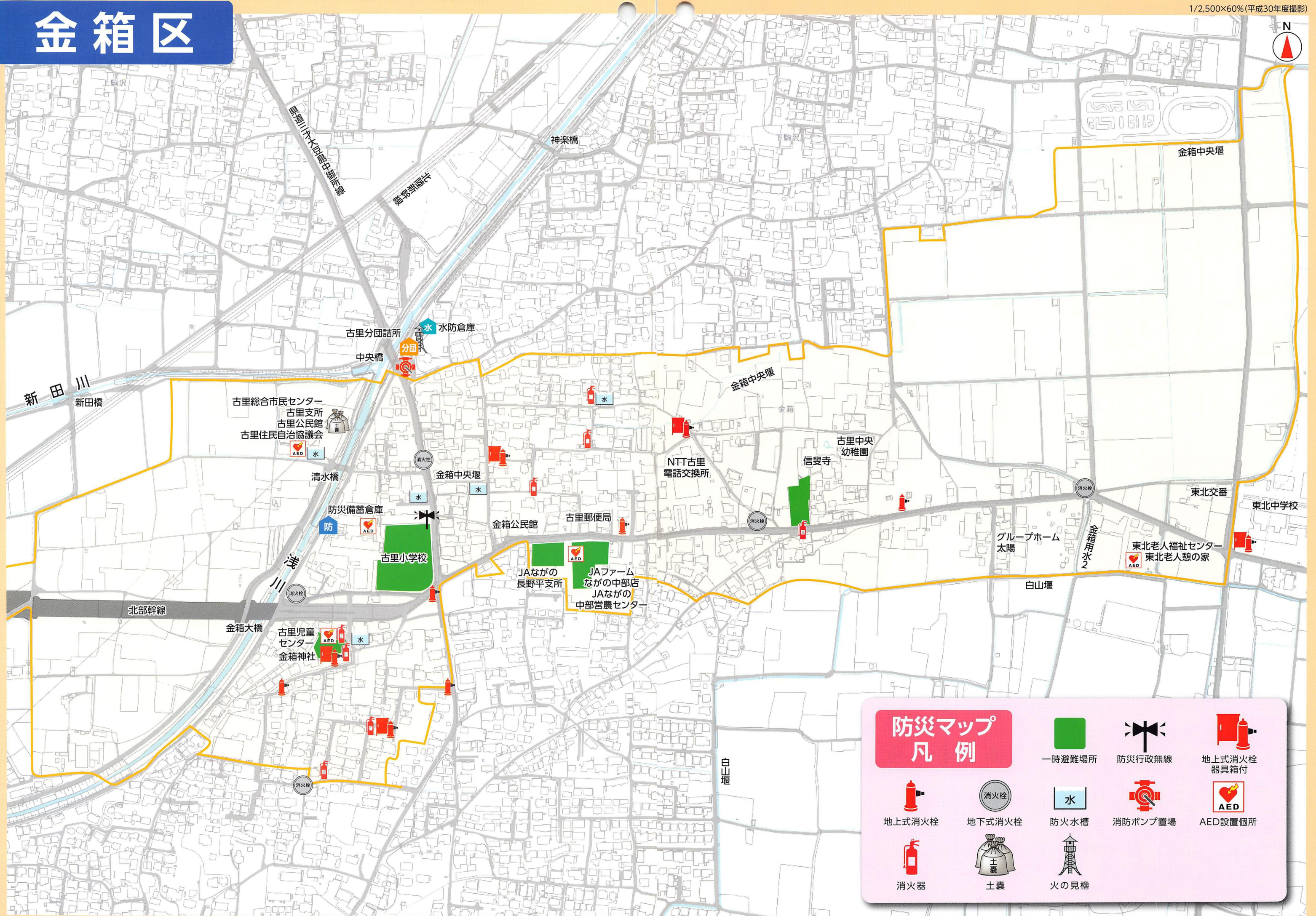
富竹区(2)



防災マップ 凡 例

一時避難場所	地下式消火栓
地上式消火栓 器具箱付	地上式消火栓
防火水槽	AED設置箇所
消火器	土嚢
防災行政無線	

金箱区



**下駒沢区にある
防災設備**



火の見櫓



消防ポンプ置場

防災マップ 凡 例



一時避難場所



消防ポンプ置場



地上式消火栓
器具箱付



地上式消火栓



地下式消火栓



防火水槽



AED設置箇所



消火器



器具箱のみ・ホース格納



箱 火の見櫓

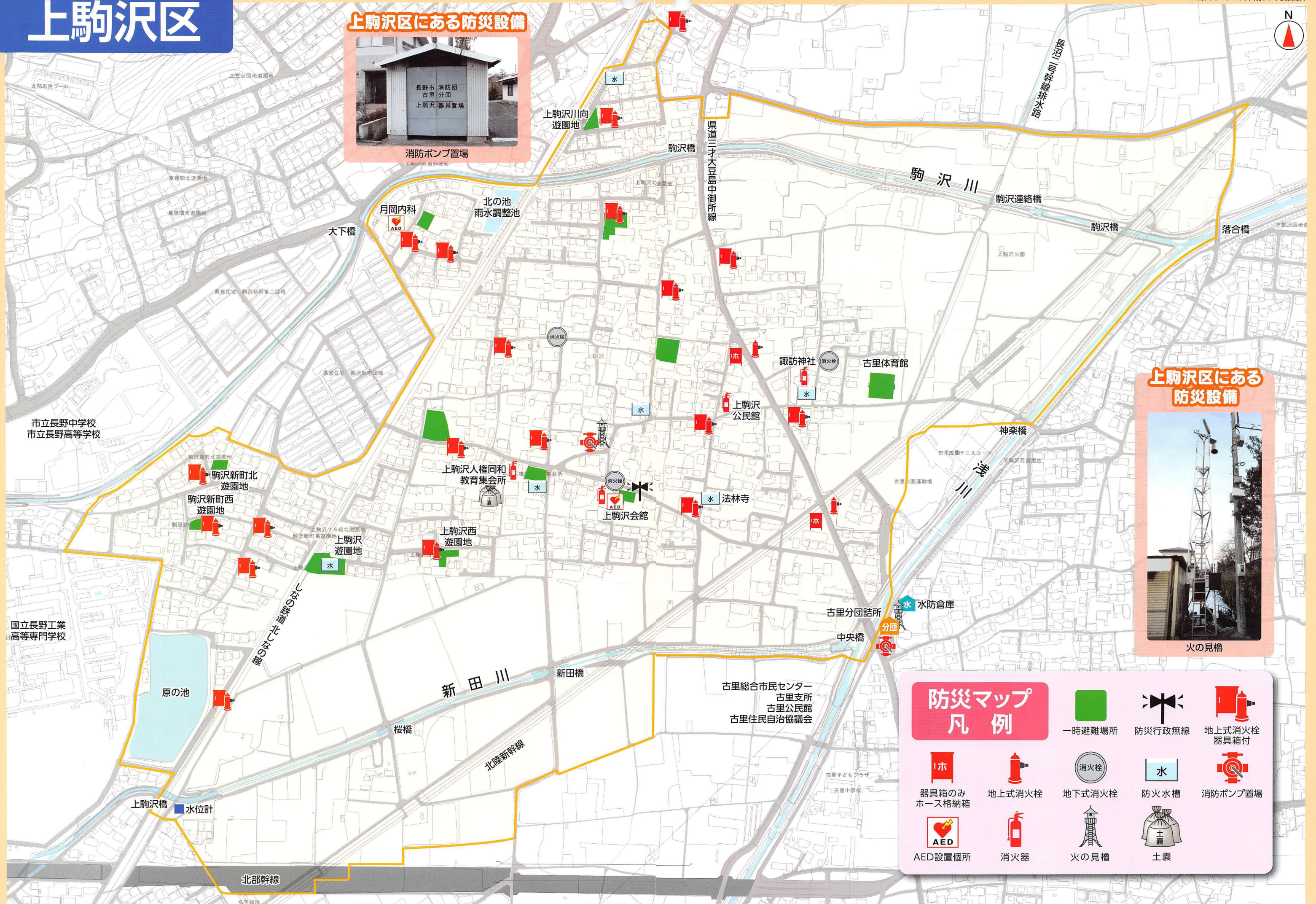
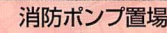


防災行政無線



土壤

上駒沢区にある防災設備

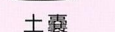
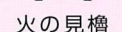
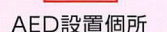
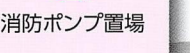
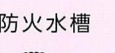
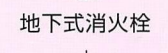
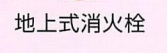
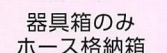
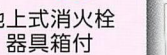
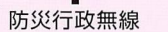
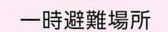


上駒沢区にある 防災設備

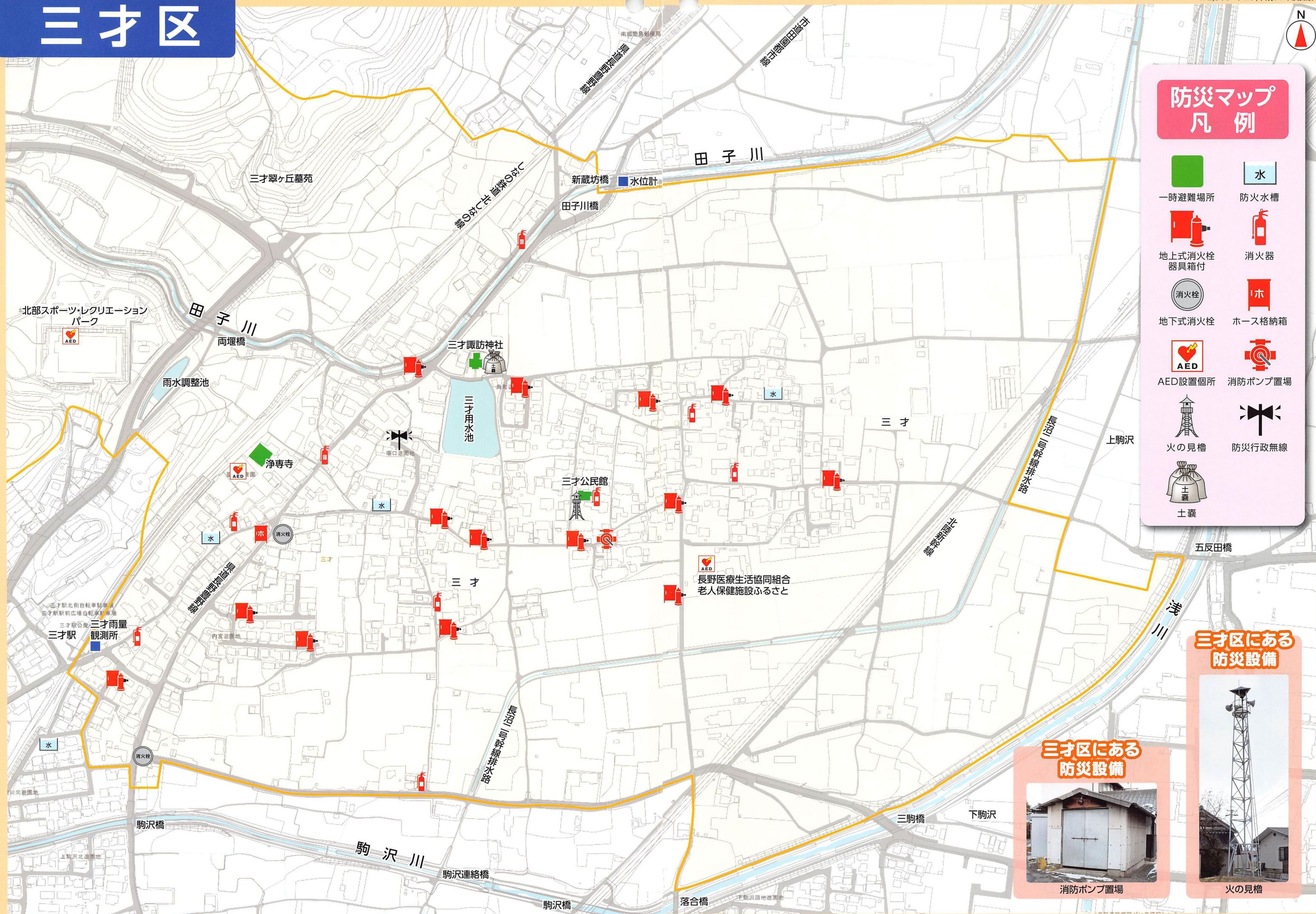


火の見櫓

防災マップ 凡 例



三才区



三才区にある 防災設備

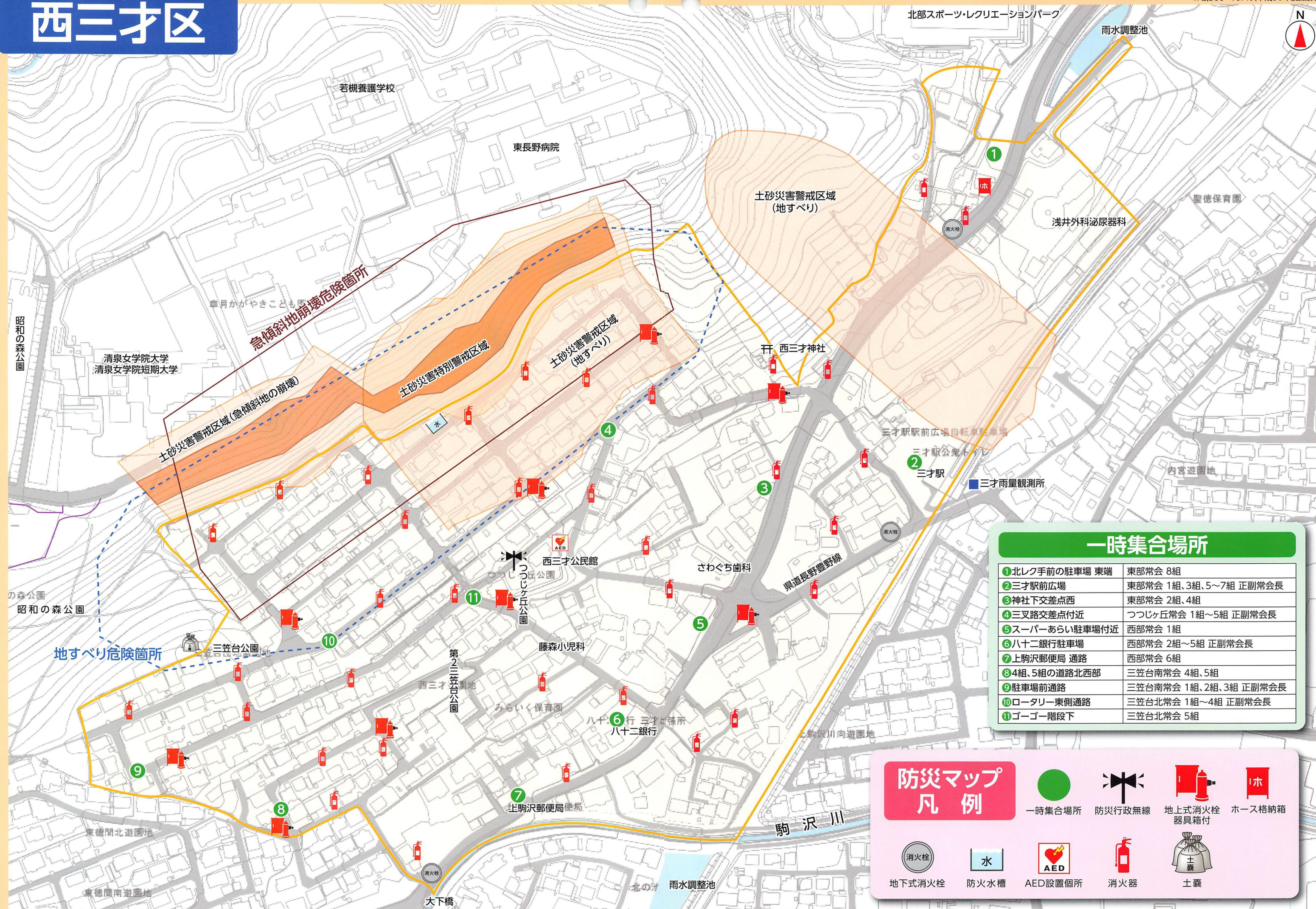
三才区にある 防災設備



消防ポンプ置場



火の見櫓



新町区・第二団地区



防災マップ 凡 例

一時避難場所

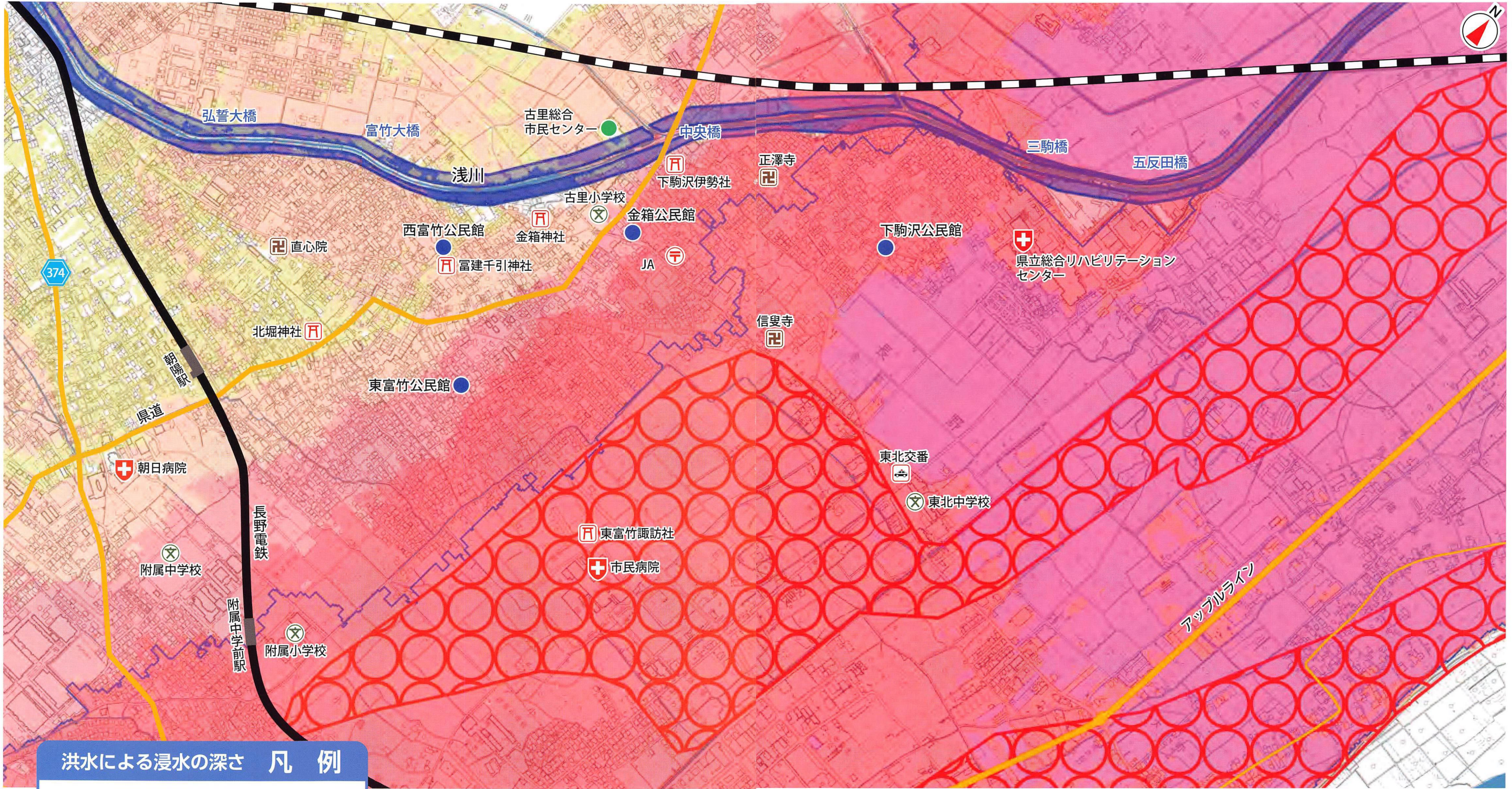
地上式消火栓
器具箱付

水
防火水槽

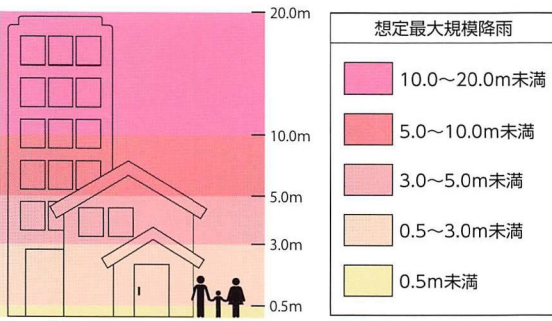
消火器

洪水ハザードマップ [富竹区、金箱区、下駒沢区]

1000年に1回程度の降雨の時、千曲川、浅川などの洪水による浸水の深さなどを示しています。 ※紫線(—)は、100年に1回程度の降雨の時の浸水想定区域を示しています。



洪水による浸水の深さ 凡 例



凡 例	
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域
	氾濫流による家屋倒壊等
	河岸侵食による家屋倒壊等(浅川の両岸)

想定した降雨の規模	
千曲川	2日間で396mm(流域全体)
犀 川	2日間で396mm(流域全体)
鳥居川	715mm/24時間(流域全体)
浅 川	766mm/24時間(流域全体)
裾花川	660mm/24時間(流域全体)

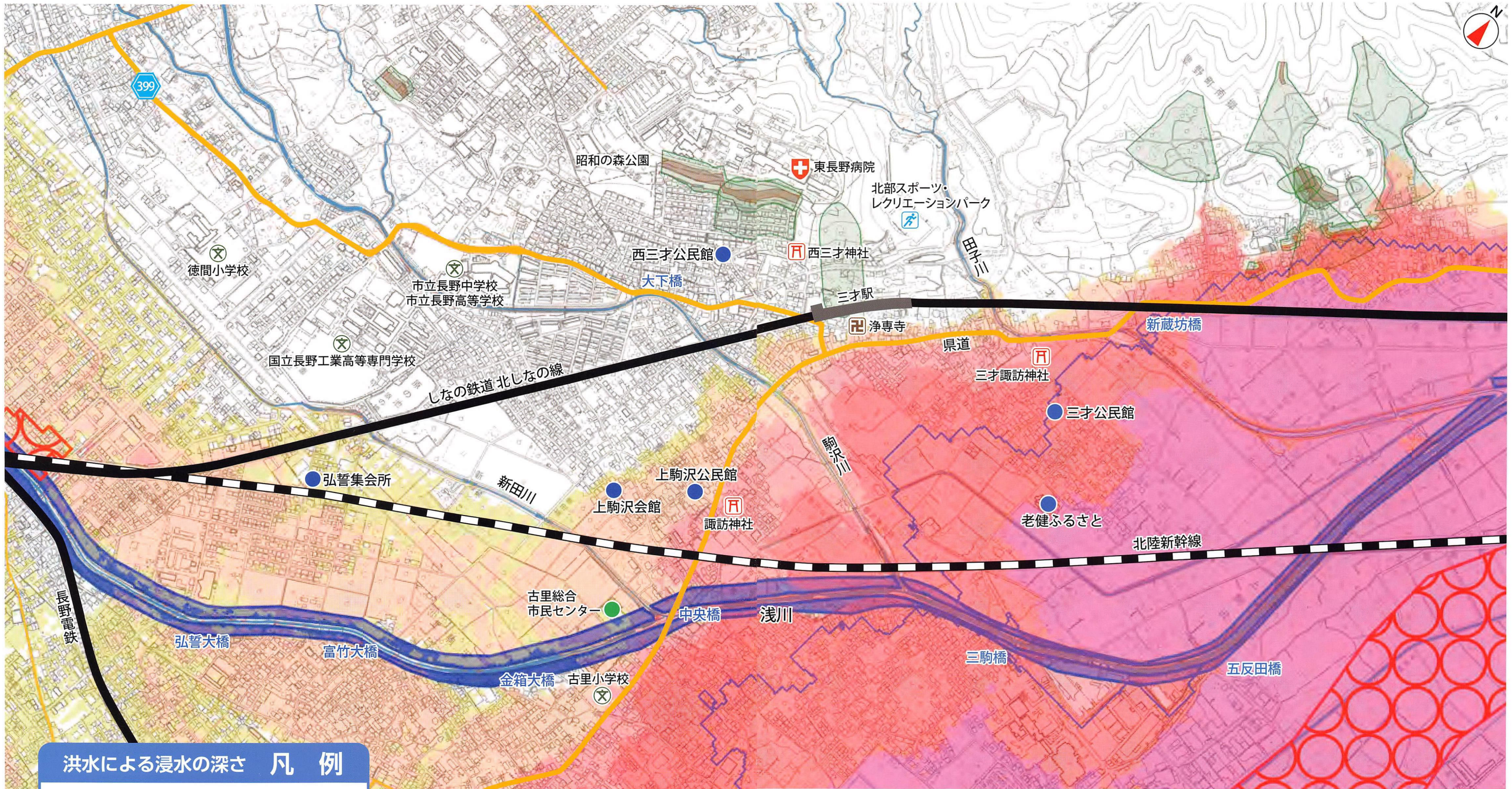
1000年に1回程度の降雨
(1年間にその規模を越える洪水が)
発生する確率が1/1000程度

	おおむね100年に1回程度起こる 降雨による洪水の浸水想定区域 (千曲川・犀川の重ね合わせ) 前提降雨：流域の2日間の総雨量 186mm
--	--

「長野市 洪水ハザードマップ」より 一部修正・追加

洪水ハザードマップ [富竹区、上駒沢区、三才区、西三才区、新町区、第二団地区]

1000年に1回程度の降雨の時、千曲川、浅川などの洪水による浸水の深さなどを示しています。 ※紫線(—)は、100年に1回程度の降雨の時の浸水想定区域を示しています。



洪水による浸水の深さ 凡 例

想定最大規模降雨	
10.0m	10.0～20.0m未満
5.0m	5.0～10.0m未満
3.0m	3.0～5.0m未満
0.5m	0.5～3.0m未満
0.5m	0.5m未満

凡 例	
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域
	氾濫流による家屋倒壊等
	河岸侵食による家屋倒壊等(浅川の兩岸)

想定した降雨の規模	
千曲川	2日間で396mm(流域全体)
犀川	2日間で396mm(流域全体)
鳥居川	715mm/24時間(流域全体)
浅川	766mm/24時間(流域全体)
裾花川	660mm/24時間(流域全体)

1000年に1回程度の降雨
(1年間にその規模を越える洪水が)
発生する確率が1/1000程度

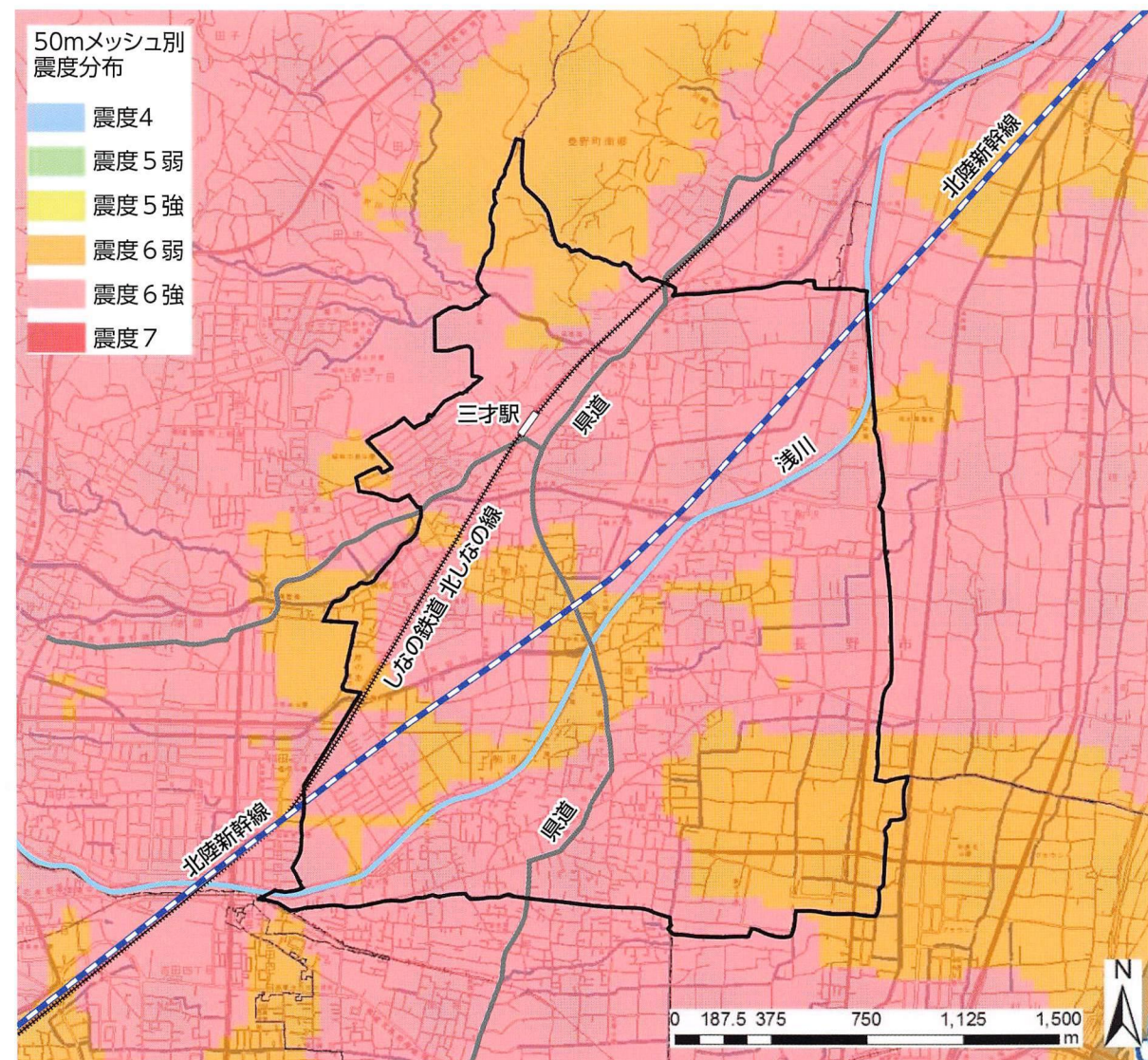
	おおむね100年に1回程度起こる 降雨による洪水の浸水想定区域 (千曲川・犀川の重ね合わせ) 前提降雨：流域の2日間の総雨量 186mm
--	--

[長野市 洪水ハザードマップ]より 一部修正・追加

想定震度分布図

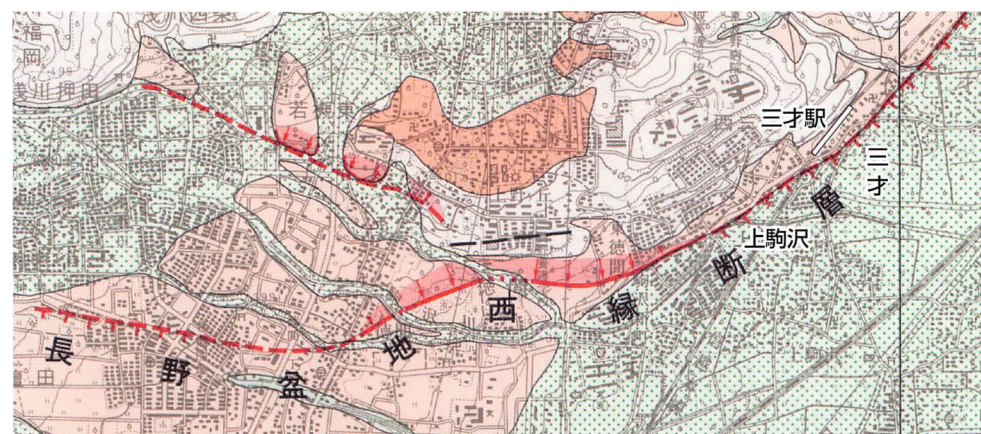
長野盆地西縁断層帯の地震

古里地区では、「震度6弱」～「震度6強」と想定されています。
この断層帯では、1847年に善光寺地震が発生しています。



「長野市 地区別防災カルテ」より 一部修正・追加

長野盆地西縁断層帯



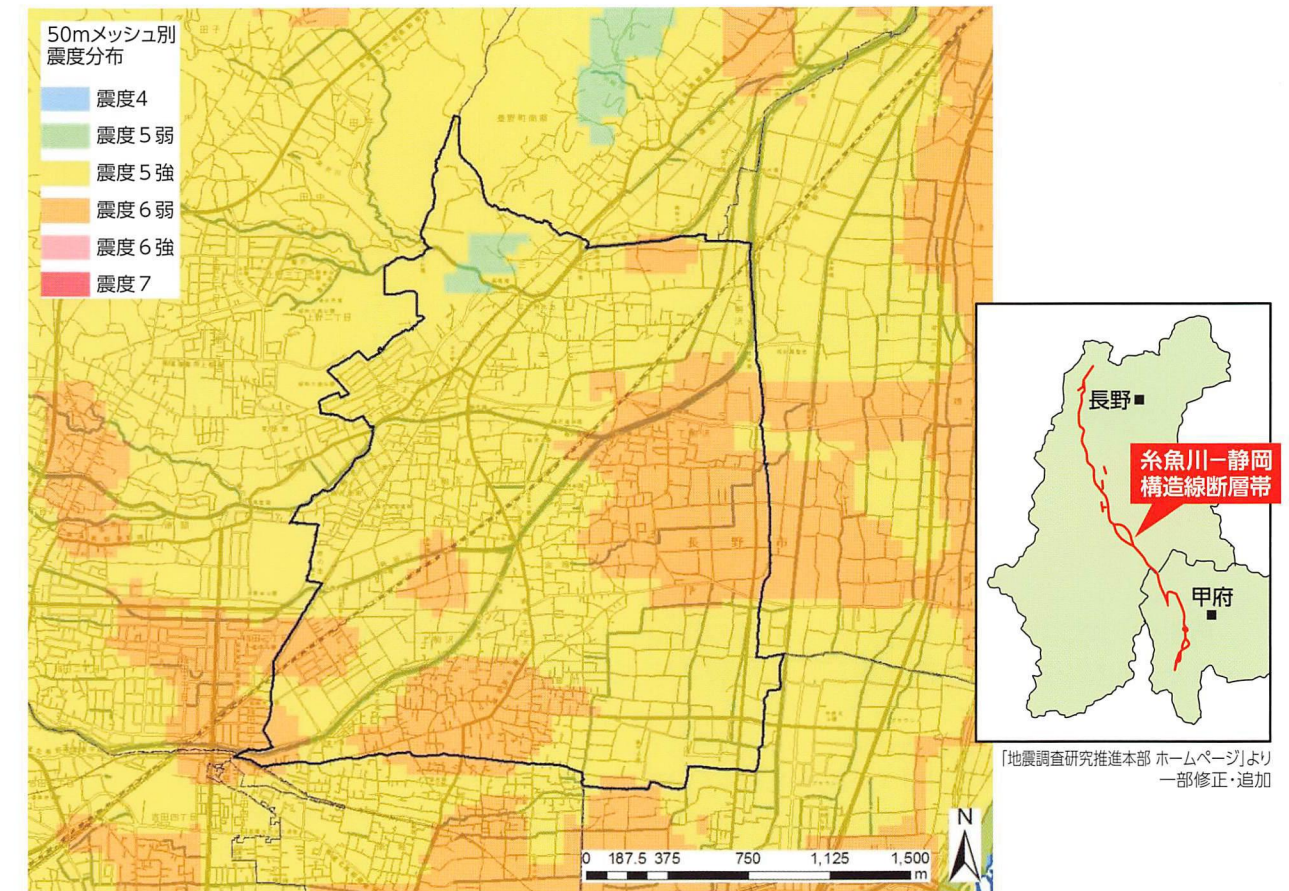
「国土地理院 活断層図 整備一覧」より 一部修正・追加

県北部に位置する「長野盆地西縁断層帯」は、野沢温泉村～中野市～長野市～千曲市にかけての約59kmと、千曲市～筑北村にかけての約15kmから構成される。長野市では、豊野～古里～県庁方面にかけて位置している。

想定震度分布図

糸魚川ー静岡構造線断層帯の地震(全体)

古里地区では、「震度5弱」～「震度6弱」と想定されています。
この断層帯では、2014年(平成26年)に長野県神城断層地震が発生しています。



「長野市 地区別防災カルテ」より 一部修正・追加

過去の地震災害

長野市の過去の主な地震災害(長野市が震源)

地震の名称 発生年月日(西暦) 発生時刻	震源 マグニチュード 震度	被害概要および被害状況
善光寺地震 弘化4年3月24日 (1847年5月8日) 22時頃	長野市直下 M=7.4 震度7(長野)	地震による崩壊、火災等により大災害となる。犀川右岸の岩倉山(虚空蔵山)が崩壊して犀川を堰止め、数十村が水没、4月13日に決壊し、大洪水となる。死者約8,600、潰れた家屋29,633、焼失家屋3,300
長沼地震 昭和16年7月15日 (1941年7月15日) 23時45分	長野市赤沼付近 M=6.2 震度6(長沼)	長沼、古里、若槻、浅川、豊野一帯で住家倒壊等の被害があり、特に長沼での被害が大きかった。また、千曲川沿いの地区では、泥が吹き出し、井戸が埋まったところがあり、また、割れ目から噴射水等が見られた。死者5、負傷者18、全壊家屋29、半壊家屋115、非住家全壊48、非住家半壊122
松代群発地震 昭和40年8月3日～ (1965年8月3日～)	長野市松代 M=5.4(最大) M=6.4に相当 震度5が9回 4が50回	地震は、松代皆神山付近に始まり順次、須坂、東村、篠ノ井、川中島、更埴、上山田に広がった。この地震は、振動の反復と累積により被害が増大したこと、長期にわたったことから、住民に与えた不安・間接的な損害は計り知れない。皆神山は、1m隆起した。負傷者15、全壊家屋10、半壊家屋4、一部損壊家屋8,620、地すべり64箇所

「長野市 長野市の過去の主な地震災害」より 一部修正・追加

長野市以外を震源とする最近の地震

長野県神城断層地震：2014年(平成26年)11月22日(土)22時8分、長野県北部の北安曇郡白馬村を震源として発生したマグニチュード(M)6.7の地震。長野市の震度は、震度6弱が戸隠と鬼無里、震度5強が箱清水、豊野町豊野、中条。古里地区では、住家21棟に一部破損の被害がでた。また、ブロック塀・灯籠の倒壊が多数発生。神城断層は、糸魚川ー静岡構造線断層帯の北端部にある。

「長野市 神城断層地震による被害について」より 一部修正・追加

命を守る事前対策を

アンケート
について

「千曲川・犀川大規模氾濫に関する減災対策協議会」が実施した「令和元年 台風第19号における避難行動と情報に関するアンケート調査」より。対象は、古里、長沼、柳原、豊野の被災された世帯。回答数＝1,139世帯。

「災害に対する意識の向上」のためには、「対策の習慣化」と「事前の行動力」が必要と言われています。事前の行動として、次の点を行ってください。時々、再確認・見直しを行いましょう。

ハザードマップで自宅の危険性を確認する

洪水ハザードマップ、想定震度分布図の自宅に印を付け、浸水の深さや震度を確認する。

アンケート
質問と回答

- 台風19号以前に、洪水ハザードマップを見たことがありますか？
洪水ハザードマップを見たことがあり、自宅の浸水の深さを知っている…41%
- 避難しなかった方(15%)に質問。避難しなかった理由は何ですか？(複数回答)
被害にあうとは思わなかったから…64% (回答第1位)

避難する場所を確認する

長野市の指定避難所を確認する。災害の種類によって、避難先を変えることもある。また、親戚や知人宅も避難先として検討する。安全な避難経路(複数)も確認しておく。

アンケート
質問と回答

- 日頃から避難する場所は決めていましたか？
特に避難する場所は決めていなかった…46%

避難するタイミングを確認する

行政が出す警戒レベル(避難情報)を参考に、避難タイミングを決めておく。
避難に時間を要する人は、「警戒レベル3」で避難を行う。
河川水位の情報等を参考に、(避難情報が出ていなくても)自主的に早めの避難も考える。

アンケート
質問と回答

- 避難先に移動する際に困ったことや苦労したことはありましたか？(複数回答)
どのタイミングで避難すればよいか分からなかった…36% (回答第1位)

非常持ち出し品を確認する

避難時に非常持ち出し品を選定していると、逃げ遅れる恐れがある。

アンケート
質問と回答

- 避難先に移動する際に困ったことや苦労したことはありましたか？(複数回答)
何を持って行けば良いか迷った…27% (回答第2位)

「わが家の避難行動確認シート」を作成する

上の4項目をもとに、「わが家の避難行動確認シート」(28ページ)を作成する。

古里地区近隣の避難所等

- 緊急避難場所は、まず身の安全を確保するために逃げる場所。
- 避難所は、一定期間生活をするための施設。

長野市の指定緊急避難場所、指定避難所 一覧

所在地 区	名 称	指定緊急避難場所 (災害の種類ごとの指定)				指定 避難所
		洪水等	土砂災害	地震	大規模な 火事	
古里	長野市立古里小学校	×(注)	○	○	×	○
古里	北部スポーツ・レクリエーションパーク	○	○	○	×	○
吉田	長野県長野吉田高等学校第1グラウンド	×	○	○	×	-
吉田	長野市立吉田小学校	×	○	○	×	○
吉田	長野運動公園	○2階以上	○	○	○	○
吉田	長野市立東部中学校	○2階以上	○	○	×	○
柳原	長野市立柳原小学校	×	○	○	×	○
浅川	長野市立浅川小学校	○グラウンド除く	○施設内	○	×	○
浅川	長野市立北部中学校	○グラウンド除く	○	○	×	○
朝陽	長野市立朝陽小学校	×	○	○	×	○
朝陽	長野市オリンピック記念アリーナ(エムウェーブ)	○2階部分の観客席及び 内部・外部コンコース	○	○	×	-
朝陽	長野県長野盲学校	○2階以上	○	○	×	-
朝陽	信州大学教育学部附属長野中学校	×	○	○	×	○
朝陽	信州大学教育学部附属長野小学校	×	○	○	×	○
若槻	長野市立長野中学校・高等学校	×	○	○	×	○
若槻	長野市立徳間小学校	○	○	○	×	○
若槻	長野工業高等専門学校グラウンド	×	○	○	×	-
若槻	長野市立若槻小学校	○グラウンド除く	×	○	×	○
若槻	昭和の森公園フィットネスセンター	○	○	○	×	○
若槻	昭和の森公園	○	○南東の一部除く	○	○	-
長沼	長野市立東北中学校	×	○	○	×	○
長沼	穂保高台避難公園	×	○	○	×	-
長沼	長野市立長沼小学校	×	○	○	×	○
豊野	長野市立豊野西小学校	×	○	○	×	○
豊野	長野市立豊野公民館	×	○	○	×	○
豊野	長野市立豊野中学校	×	○	○	×	○
豊野	豊野体育館	×	○	○	×	○
豊野	豊野東部地区集会所	×	○	○	×	○
豊野	長野市立豊野東小学校	○	○	○	×	○

令和2年10月16日時点、「長野市 指定緊急避難場所・指定避難所…」から、古里地区近隣の避難所等を抽出。

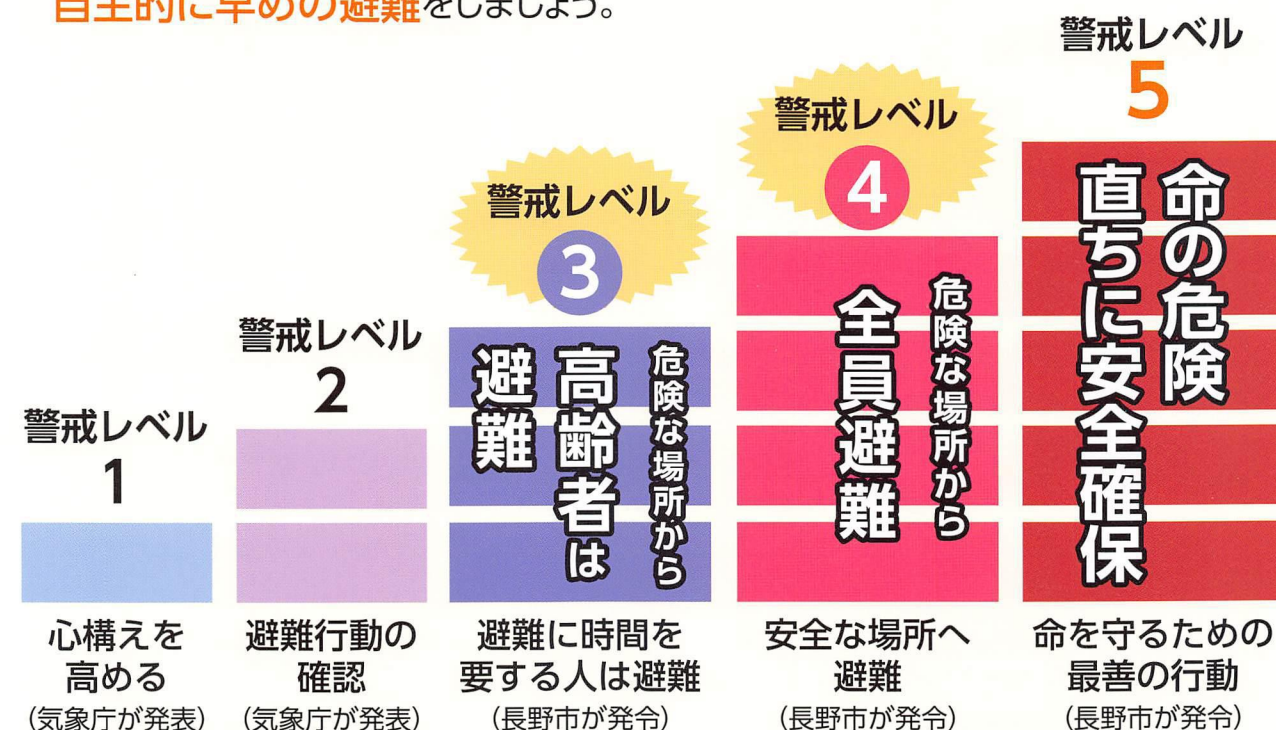
この他、「自主避難所」が開設される場合があります。

避難所開設の情報は、【長野市防災情報ポータルサイト】(27ページ)を参照。

古里小学校の(注)：「洪水による浸水は1階の高さまで(3m未満)ですが、浅川で河岸浸食が起きた場合、校舎の一部が倒壊する恐れがありますので、避難場所の指定が「×」になりました。」(長野市危機管理防災課)
従って、浅川の河岸浸食の恐れがなければ「○2階以上」

警戒レベル(避難情報) = 避難のタイミング

行政が出す警戒レベル(避難情報)で確実に避難しましょう。
気象庁などからの雨の情報や河川水位を参考に、(避難情報が出ていなくても)
自主的に早めの避難をしましょう。



避難とは、難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。

ご自身または一緒に避難する人が避難に時間がかかる方は、警戒レベル3で避難します。

警戒レベル4「全員避難」は、高齢者などに限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。

警戒レベル5が出てまだ避難できていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くの安全な建物に移動したりするなど、命を守るための最善の行動を取ってください。

〔広報ながの2020.8〕より 一部修正・追加

高齢者などへの支援を

避難行動要支援者への支援

高齢者など、ご自身では避難が難しい方への支援に協力してください。
・避難するときに、声掛けを行い、一緒に避難する。等



普段からの地域のつながりを

災害時の救助や避難などには、日頃からの近所づきあいが力を発揮します。
災害の規模が大きければ大きいほど、消防などの行政の支援は遅れます。近所が頼りです。

非常持ち出し品、備蓄品

標準的な非常持ち出し品は、次のとおりです。この他に、個人や家族に必要なものを確認しましょう。事前に準備しておいてください。

非常持ち出し品

●安全な避難のために

☐ ヘルメット ☐ 雨具(カッパ) ☐ 手袋 ☐ 運動靴 ☐ 懐中電灯 ☐ 杖

●避難所での生活のために

食料等 ☐ 飲料水 ☐ 食料品(おにぎり、パン、レトルト食品、あめ等)
衣類等 ☐ 下着(数組) ☐ 靴下 ☐ 防寒着(セーター、防寒シート等)
その他 ☐ タオル ☐ ティッシュ ☐ スリッパ ☐ 洗面用具 ☐ マスク
☐ 体温計 ☐ 消毒液等 ☐ 使い捨てカイロ



●なければこまるもの

☐ 財布・お金 ☐ 常備薬 ☐ メガネ・入れ歯 ☐ 携帯電話・充電器

●車で避難(車中待機)する場合 ☐ 毛布等 ☐ 携帯トイレ

●個人の必需品

食料・飲料・生活必需品などの備蓄〈人数分用意しましょう〉

☐ 飲料水 3日分(1人1日3リットルが目安)

☐ 非常食 3日分の食料として、ご飯(アルファ化米など)、ビスケット、乾パンなど

☐ トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど

※大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

※飲料水とは別に、トイレ用などの生活用水も必要です。

〔長野市 危機管理防災課 講演会資料〕より 一部修正・追加

防災情報の入手

現在の長野市の状況を知りたい

長野市防災情報ポータル

検索

長野市
防災情報
ポータル

防災情報：雨量・河川水位情報、地震情報、防災行政無線情報、
避難情報・避難所開設、火災・救助等の出動情報、国民保護情報
・「長野市防災メール配信サービス」の登録方法等が記載されている。



防災行政無線が良く聞こえない

0120-479-231に電話する
(放送内容を聞くことができる)

大雨の状況を知りたい

「気象庁 危険度分布」で検索

川の水位を知りたい・川のライブ映像を見たい

「川の水位情報」で検索

「長野県河川砂防情報ステーション」で検索



古里地区に設置の水位計等は、29ページ参照

増水した川に
近づかないで!

わが家の避難行動確認シート



「わが家の避難行動確認シート」を作成しましょう。
家族みんなで防災について話し合っ、作成しましょう。

	① 避難する必要があるか？	② 避難のタイミング (いつ逃げる？)	③ 避難場所
川の氾濫	洪水ハザードマップで確認 ・ある () ・ない ()		
土砂災害	土砂災害ハザードマップで確認 ・ある () ・ない ()		
地震	耐震性のない場所にいる場合は、外の広い場所への避難が必要です。		

家族(頼りになる人)の緊急連絡先				持ち出すもの(避難所で手に入りにくいもの)	
氏名	連絡先 (職場・携帯など)			☐ アルコール消毒液	☐
				☐ マスク	☐
				☐ 防寒着	☐
				☐	☐
				☐	☐
				☐	☐
誰を気にかける？	いつ	誰を	連絡先	気にかける人と一緒に避難する際の留意事項(持ち物など)	

避難先は長野市指定避難所だけではありません。自宅の2階、親戚や知人宅、安全な場所での車内などで待機することなどが考えられます。

「広報ながの 2020.8」より 一部修正・追加

過去の水害

最近の水害

令和元年 東日本台風災害	台風第19号の大雨により、13日の未明に千曲川(穂保)の堤防が決壊、さらに浅川内水氾濫により甚大な被害が出る。古里地区では、13日朝6時には浸水被害が発生し、下駒沢・三才・金箱・富竹で、床上浸水94戸 床下浸水87戸にのぼった。
令和元年 10月12日～13日	古里地区への避難情報…13日 11:05に、警戒レベル4 避難指示(緊急)「浅川内水氾濫による浸水の恐れがある」が三才、下駒沢に発令された。 避難情報と避難所開設の長野市の対応…12日18:00に、警戒レベル4避難勧告が、篠ノ井～豊野地区の千曲川沿川に発令(古里地区は含まれなかった)。古里地区での避難所開設は、古里小学校(12日18:00開設)、北部スポーツ・レクリエーションパーク(12日18:40)。また、自主避難所を古里総合市民センターに12日20:00に開設。

「長野市 令和元年東日本台風災害対応 検証報告書」より 一部修正・追加

平成29年7月11日 夕方	17:30頃から、古里地区全域が集中豪雨に襲われた。三才の雨量計で、一時間雨量が74mmを観測。新田川が越水。長沼1号2号幹線排水路、白山堰が氾濫。しなの鉄道線路沿いの土手など、崩落が各所で発生。道路の冠水が多数発生。上駒沢と西三才に避難勧告が発令された。
------------------	--

浅川と浅川支流の災害

明治時代	浅川決壊3回、新田川決壊2回、駒沢川決壊1回	昭和12年7月	浅川堤防(金箱地籍)決壊
		昭和36年7月	田子川堤防決壊、駒沢川氾濫
大正時代	浅川決壊3回、田子川決壊2回	昭和43年6月	田子川3カ所で堤防決壊
昭和3年9月	田子川堤防決壊	昭和58年8月	豪雨で富竹地区113戸床下浸水
昭和7年7月	浅川堤防(五反田地籍)決壊	平成7年7月	浅川富竹橋付近の護岸半壊
昭和8年7月	浅川堤防(七配地籍)決壊 下駒沢		

「いきいき古里―百年の歩み―」より 一部修正・追加

水害対策用設備

機器、施設	設置場所	掲載マップ	記 事	
浅川 水位計	富竹大橋 下流	3ページ	富竹水位観測所	【川の水位情報】、【長野県河川砂防情報ステーション】で検索し、水位などを知ることが出来ます(27ページ参照)。
浅川 河川監視カメラ	富竹大橋 上流	2ページ		
新田川 水位計	上駒沢橋	10ページ		
田子川 水位計	新蔵坊橋	12ページ		
三才 雨量計	三才駅 踏切 近く	12ページ	長野県 三才雨量観測所	
富竹ポンプ施設	富竹大橋 近く	3ページ	役割…富竹地区内の排水路に溜まった水を、ポンプで強制的に浅川に吐き出し、地域の浸水被害を軽減する。	

地震の安全対策

家具転倒防止対策

「大地震では、家具は必ず倒れるもの」と考えて、日頃から家具の固定や家具配置の見直しで、「安全空間」を作っておきましょう。



地震から身を守る

揺れを感じた時や、緊急地震速報を受けたときは、丈夫なテーブルの下に身を寄せ、座布団などで頭を保護し、自分の身の安全を確保しましょう。揺れがおさまってから火の始末をしましょう。



家族の安全を確認した後、隣近所に声をかけ、お互いに安否確認をしましょう。

区 特記事項

災害時緊急連絡先

火事・救急 ☎119 警 察 ☎110		古里住民自治協議会 災害対策本部 026-295-9755	
防災行政無線 0120-479-231		防災行政無線からの放送内容を再度聞くことができます。 【長野市防災情報ポータルサイト】(27ページ)も参照。	
消防・火災情報ダイヤル 026-228-7000		火災の発生・鎮火、その他の災害について知らせています。 【長野市防災情報ポータルサイト】(27ページ)も参照。	
長野市役所	226-4911	古里支所	296-2587
長野市消防局鶴賀消防署	223-0119	(消防)柳原分署	296-0119
長野中央警察署	244-0110	東北交番	295-4545
長野市上下水道局	241-1132	長野都市ガス(代表)	226-8161
中部電力(代表)	0120-985-232	プロパンガスは各戸で記入	



災害用伝言ダイヤルの利用

伝言の**録音**方法

171 → 1

被災地の方の電話番号

録音(30秒以内)

電話番号はいずれも
市外局番から

伝言の**再生**方法

171 → 2

被災地の方の電話番号

伝言を聞く



携帯電話の災害用伝言板

災害時に各携帯電話会社は、「災害用伝言板」を開設します。被災地の方の安否情報を伝言板に登録でき、登録された伝言は同じ会社の携帯電話はもちろん、他社の携帯電話やパソコンから見るすることができます。

伝言板**登録**のしかた

各社のトップメニューから
「災害用伝言板」を開く

「登録」を選択して伝言を登録

伝言板**確認**のしかた

各社のトップメニューから
「災害用伝言板」を開く

「確認」を選択して被災地の方の
携帯電話番号を入力して伝言を見る

※この防災マップの作成に当たっては、長野市の「総務部 危機管理防災課」、「消防局 鶴賀消防署 柳原分署」から資料の提供等をいただきました。

※この防災マップの作成に当たり、長野市の「令和2年度ながのまちづくり活動支援事業」補助金を活用しました。